



新型コロナウイルス・ワクチン接種体制整備を推進！

4月11日

千葉市の新型コロナウイルス・ワクチン集団接種シミュレーションに参加。市民役として接種に至る迄を体験しました。接種後の副反応への対応・相談を含め、市民が安心して接種できる体制構築を求めました。



5月13日

神谷市長に、新型コロナウイルス・ワクチンの円滑かつ迅速な接種体制構築に向けて緊急要望を提出しました。



6月15日

集団接種会場の体制強化を再確認。無駄のないワクチンの使用や集団接種会場の安全かつ効率的な運用を求めました。

▶詳細は：森山かずひろHP 活動記録をご覧ください。
<http://moriyama-kazuhiro.com/>

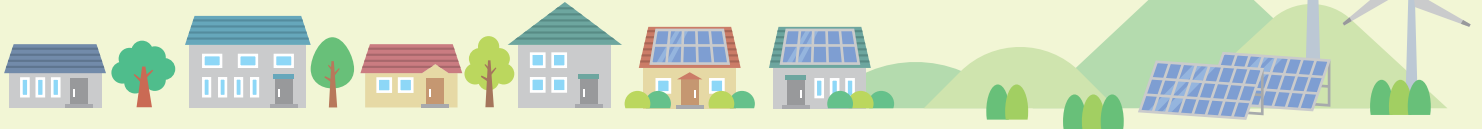


令和3年・第2回 定例会が開催されました。

会期
6月4日～23日

11日の市議団の代表質疑で、森山が担当しました

「脱炭素社会構築に向けた取り組みについて」をご報告いたします。



Q 再生可能エネルギーの利活用を広域連携で実現するための方策は？

A 本市のような電力の大消費地において、安定的に再生エネルギーを確保するには、市域における再生エネルギーの創出と合わせ、市域外からの調達についても積極的に取り組む必要があると考えています。例えば千葉氏ゆかりの自治体や県内自治体などとの連携も検討します。

Q 市の保有施設の使用電力を再生可能エネルギー100%とする取り組みの見える化は？

A 令和8年度の稼働に向け整備を進めている新清掃工場では、高効率な発電設備を導入し発電電力量を高め、近隣の若葉いきいきプラザなどへ供給するほか、売電(うりでん)を行う計画があり、化石燃料由来の二酸化炭素排出量の削減に貢献するものと考えています。

Q 生ごみの乾燥ペレット化で燃料としての活用など、より実効的な生ごみ減量に向けた方針の策定は？

A 新たな形での生ごみ再資源化策なども含め、実効性のある方策については、令和5年度に開始する「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」において整理します。

要望 市民生活と脱炭素社会の取り組みが両立した千葉市らしいカーボンニュートラルの対策を要望します。

千葉市の現場を調査！ 農福連携の推進について

2019年にまとめられた国の「農福連携等推進ビジョン」には、2024年度までに、農福連携に取り組む農家や福祉施設を新たに3000か所増やす目標を掲げています。

また、このビジョンに基づく支援事業の動向には、特に福祉側の主体を広げようと、これまでの障がい者だけでなく、高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある方等の就労、社会参画の機会確保などの支援の必要性が示され、その広がり期待をしています。

農業を通じて健康になったり、就労できることは、地域にとっても歓迎すべきことであり、農福連携の裾野を広げることは、農業の価値を高めることにもつながると考えます。

そこで、農業と福祉の連携を広めるため、千葉市の現場を調査しました。



トピックス 千葉JPFドームの内覧会に参加しました。

6/30

千葉市では、平成29年度から千葉競輪場リニューアル事業に取り組み、本年7月の開催に向け、関係団体等の協力をいただきながら各種準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、経済産業省や公益財団法人JKAなど関係団体と協議を重ねた結果、開催時期を10月に変更したと説明を受けました。

世界初の国際規格(250m木製バンク)での競輪をご覧いただくため、引き続き業界団体等と連携の下、開催準備を進めていくとのことです。



施設の概要

名称: 千葉JPFドーム
所在: 千葉市中央区弁天4-1-1
構造: 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・地上4階地下1階建て
延べ面積: 約14,300㎡ 客席数: 2,000席

市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員

森山かずひろ

Tel.043-245-5483 Fax.043-245-5584
<https://moriyama-kazuhiro.com/>